

平成23年度「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」（プロジェクト型） 共同利用型公募研究報告書

研究課題：「北東アジア地域における第一次世界大戦」

申請者：横手 慎二（慶應義塾大学）

このプロジェクトは、第一次世界大戦の百周年を記念して英文で刊行される「ロシアと第一次世界大戦」研究シリーズのシベリアと極東編を作成するために発足したもので、その活動は2012年7月にアメリカで開催される編集会議にプロジェクト参加者の英文論文を提出し、上記の論文集の刊行を確実にすることで終わる。個々の論文の採否は、この編集会議で決定されるために、現時点ではプロジェクトの最終的成果として示すことができない。しかし、プロジェクト参加者は、慶応大学と北海道大学スラブ研究センターを会場にして、これまで計4回の研究会を開き、研究成果を持ち寄って率直な意見交換を行った。こうした作業を行うことで、2012年4月28日時点で以下のごとき状態にある。

1. 横手 慎二 「第一次世界大戦が東アジアに与えたイデオロギー的衝撃 — 西欧、共産主義、アジア主義」（日本語は提出済みで、現在、英訳中）
2. 富田武 「荒木貞夫と第一次世界大戦」（日本語は提出済みで、現在、英訳中）
3. 斉藤聖二 「シベリア出兵の政策決定」（日本語は提出済みで、現在、英訳中）
4. 小野圭司 「第1次大戦・シベリア出兵を巡る日本の戦費と軍事財政」（日本語は提出済みで、現在、英訳中）
5. 高尾千津子 「第一次世界大戦、シベリア出兵と反ユダヤ主義 — 日本における『シオン議定書』の受容」（日本語は提出済みで、現在、英訳中）
6. 林忠行 The Czechoslovak Legion and Japan in Siberia: 1918-1920（英文で提出済み）
7. ウルフ、ディビッド The Ambiguous Legacy of Japanese Intervention: Siberian Failure, Manchurian Success（英文で提出済み）
8. 同、M. N. Riutin and the Manchurian Intervention（英文で提出済み）
9. サヴェリエフ、イーゴリ Chinese Labor in the Russian War Effort（英文でほぼ完成状態）
10. シュラトフ、ヤロスラーヴリ Koreans in the Far East and German

Espionage during the World War I, - A Nation between the Sledge-Hammer and the Anvil (英文でほぼ完成状態)

- 1 1. 同、 World War I, Russian Far East and Russo-Japanese Cooperation
(英文で準備中)
- 1 2. 原暉之 Chinese and Korean Factors of the Nikolaevsk Incident, 1920.
(英文で準備中)
- 1 3. Baryshev, Eduard, The Issue of Armaments Supply in Russo-Japanese Relations during the World War I (英文でほぼ完成状態)
(なお、パールィシェフ氏は、第三回目の研究会から参加)

以上の如く、このプロジェクトは、第一次世界大戦が北東アジアにおいて示した多面的な様相を総合的に明らかにすることを目指すものであった。冒頭に記した如く、最終的な成果は、まだ示すことができないが、発足当初に設定した目標は、2012年3月末時点でほぼ達成したと考えている。

(2012年4月28日)